

社会福祉法人 沖縄にじの会 特別養護老人ホームゆがふ苑



贈呈理由 > 省エネ性・環境性に優れた業務用エコキュートの導入



社会福祉法人沖縄にじの会 特別養護老人ホームゆがふ苑は、沖縄県那覇市の東シナ海を望む景色豊かな高台にありながら、病院も近く、医療との連携もとりにやすい恵まれた立地環境にある。2016年4月1日に事業を開始し、施設定員85名に対して介護職員 60名（2016年11月15日現在）にて運営を行っている。「夢や希望を叶え、喜びを分かち合い、家族や地域から信頼される施設」を運用方針とし、当施設が行う「ユニットケア」という新しいスタイルで、既成概念を超えて求められる介護をつくりあげている。

当施設は、沖縄県および那覇市からの補助金を活用し建設した。給湯設備を選定するにあたっては、施設の規模や介護施設における入浴や厨房などで一般的に使用される必要湯量を算出し、さまざまな熱源設備でのシミュレーションによる比較検討を行った結果、省エネ性と環境性に優れた「業務用エコキュート」を採用することとした。

割安な夜間電力を活用することでランニングコストの低減や、高効率な機器性能による環境保全といったメリットを享受できることに加え、当施設より先に業務用エコキュートを導入した『沖縄にじの会 特別養護老人ホーム知花の里』においても同様の結果を得ていたことが決め手となり採用に至った。

当施設が行う「ユニットケア」は、1フロアにつき10人までの入居者で、一人ひとりのプライバシーを守り、自宅の生活環境に近い個性や生活リズムを尊重する「個別ケア」を実現。毎日決められた流れで多くの人を効率的に介護する「集団ケア」とは異なり、入居者それぞれの暮らしに寄り添ったケアを行うことで、快適に過ごせる環境がつけられると考えており、介護が必要になってもこれまでの暮らしに近い、我が家のような施設を目指している。

沖縄にじの会は、高齢者が介護を必要としても、尊厳を保ちながら暮らし続けることができる支援を行う社会福

祉事業者としての役割を果たせるように、これからも家族や地域住民、自治体との連携を強めていく。



給湯設備

社会福祉法人 沖縄にじの会 特別養護老人ホームゆがふ苑

所在地：沖縄県那覇市山下町5番30号
建築設計：(有)外間建築設計事務所
建築施工：(株)東恩納組
蓄熱設備設計：(株)設備研究所
蓄熱設備施工：(株)和高建設工業
延床面積：4,793㎡
竣工：2016年2月（新設）
URL：http://okiniji.or.jp/

■蓄熱設備概要

業務用エコキュート 40kW×2台 [三菱電機]
貯湯槽：12㎡